A:達成している(80%以上) B:概ね達成している(70%以上) C:あまり達成していない(50%以上) D:達成していない(50%未満)

A	、:達	≧成している(80%以上) B:概ね達成している(	70% L	以上) (	C:あまり達成していない(50%以上) D:達成していない(50%未満)
		評価項目	評	価	今後の改善について 自己評価の妥当性 (学校関係者評価の意見等)
	1	保護者や外部に教育方針や活動内容をわ かりやすく伝えている	В		・保護者への配信の仕方については、その・コドモンの運用で家族間の共有がし都度読んでもらえるよう工夫をして実践にくくなる。また、連絡ノートは手書
園	2	保護者参観・行事・面談・園だより等開    かれた園づくりをしている	A		していき一番良い配信の仕方を探ってい きたい。
	3	PTAや地域との連携を図り、特色ある 教育活動に取り組んでいる	A		につながるが、保護者との対話は変わらずモンへ移行するのはどうかと思う。
運	4	周旧の健康の知場の健康管理学済打な場	A	A	大切にしていきたい。 ・ 園だよりや通信など園の様子がよく ・ 環境美化に関しては人任せにせず意識を わかる。 忙しい中大変だと思うが無理
	5	防災・不審者の危機管理等、安全指導に 努めている	A	11	もって取り組んでいく。また担当制にしたり、職員作業日を月に1回設けたりするなど色々な方法を試していきたい。
	6	園内の環境美化に努め、施設・設備等の 安全管理を適切に行っている	В		・研修に関しては、全職員で受けられるよ うに代替え職員の充足など工夫している。
営	7	園運営に教職員の意見が反映されている	A		今後も全職員の元定なと工夫している。 今後も全職員で同じ方向を向いて保育し ていけるように研修の場を確保したい。ま
	8	教職員の資質能力を高めるための研修を	A		た日頃から何でも話し合える雰囲気づく りをしていく。
	1	教育目標が自園の実態を把握し、園児や 保護者のニーズにあった内容である	A		・次年度には普段の生活の様子を見て ・主となる行事への参観依頼はあった いただけるように日程を考えていき が、行事ではない普段の生活の様子が
教	2	園児の発達に即し、遊びを中心とした体   験的な教育に取り組んでいる	A		たい。
	3	11 2 7 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	A		・地域の方からは色々と良くしていた ・今後も小学校との連携を大切にして だいている。今後もどんどん地域に出 ほしい。 はしい。
育	4	心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や 工夫をしている	В	A	な子どもを育てていきたい。
課	5	地域を活かした特色ある教育活動を行っている	A	11	・支援会議はじめ気になる子ども達への関わり方やリフレーミングの研修
	6	幼(保)・小・地域等との交流や連携を行い 、保育・教育活動に活かしている	В		などは積極的に開催できたが、園内研修ができない月があったため、来年度
程		指導計画・行事の作成にあたっては教職 員で話し合っている	A		は責任者任せにせず職員全体が積極的に声をかけあいながら話し合う時
	7		71		間を設けるようにしていく。
	1	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様   々な事象に関心をもてるよう工夫している	A		・今年は自然な流れの中での異年齢 ・家庭ではできない様々な体験活動を 児の関わりが十分もてた。来年度も させてもらっている様子がクラスだよ
保	2	園児一人一人の発達を明確にし、共に育    ち合える保育になっている	A		引き続き異年齢児の交流を大切にし りから感じられる。地域にもよく出か たい。 けていて、子どもから「この草は〇〇
育	3	んるより指導しくいる	A		┃・好きな遊びの中などで、子どもの
活	4	つく刀や、伝え合り暑ひを培っている	A	A	特性や発達を配慮しながら物的環境 また、秋のごっこ遊びが体験活動から や人的環境を整え、子どもが主体的 つながっていることもわかった。今後
動	5	健康・安全に必要な習慣や態度が身につ くよう取り組んでいる	В		に生活できるようにしていきたい。 も引き続き地区の自然や人との触れ合いを大切にしてほしい。
	Э		D		
A				7.7.	